

議事録／出張報告書

議題 or 件名 令和元年度 第7回デイサービス未来中岡 運営推進会議			出席者承認
日時	R2年 1月 23日(木)	出席者名	下條成子様、小宅嘉有様
場所	デイサービス未来 中岡	及び	長谷川教夫様
時間	17:15 ~ 19:00	配布先	牛来照雄様、牛来紘子様
			陣野英之
配布先	配布； 表紙回覧；	添付書類	全 3 枚

1、目的

デイサービス未来中岡は、平成28年4月より指定地域密着型サービスの中の指定地域密着型通所介護へ移行となり、概ね6カ月に1回以上、運営推進会議を実施し、活動状況を報告し、運営推進会議による評価を受けるとともに、運営推進会議から必要な要望、助言等を聴く機会を設け、話し合いを行った。

2、参加者

- ① 勿来・田人地域包括支援センター 下條成子様
- ② 自治会長兼区長 小宅嘉有様
- ③ 民生委員 長谷川教夫様
- ④ ご利用者様代表 牛来照雄様
- ⑤ ご家族様代表 牛来紘子様
- ⑥ デイサービス未来中岡 管理者 陣野英之

3、会議内容

- 1 基本方針
- 2 運営状況
- 3 利用者様ご利用状況
- 4 地域密着に関わる活動状況
- 5 意見交換会

※ 1~4についての詳細は、別紙「運営推進会議資料参照」

4、意見交換会

・実際にご利用しているの感想やご意見は？

牛来様:職員が全員とても丁寧に対応してくれており、個々の身体の状態に合わせて対応を工夫したり、機器の設定を変えたりしてくれるので、身体や症状に合わせた訓練ができています。定期的に筋力測定も行ってきており、結果としても筋力の向上が見えるので助かっています。昔は登山をしたりして山歩きを楽しんでいたのですが、下肢が弱って来ていて杖がないと歩くのも不安なので、筋力が付けられるように今後も運動をしていきたいと思ひます。

奥様:足腰が弱くなったので、週3回運動する事が出来て助かっています。自宅でも洗面所でスクワットしたり、エアロバイクを漕いだりと、運動に対する意識も強くて自分で頑張っています。

・地域からDSに求める事は？

自治会長小宅様:うちの父も、昔利用しており、今は身体も動かなくなってしまい、1日のDSに行くようになったが、地域に出掛ける事が楽しみに思えるような所があるのは良いと思ひます。

民生委員長谷川様:私は昨年12月に民生委員となり、まだ右も左も分からない位で色々教えて貰いたい。実際にどの辺の方々を対象にしている、どういった方が利用出来るのか？

DS陣野:実施対象としているのは、山田、南台、川部、勿来(四沢・白米付近まで)、錦、金山、添野、江畑、後田、中岡等のいわき市南部全域です。午前枠が8:45~11:50、午後枠が13:10~16:15の提供時間で、その前後に、1車両3名~4名のご利用者様の送迎を行うので、1コースが往復30分程度を目安に送迎をしています。また利用対象者は、介護保険の認定をされ、要支援や要介護の認定を受けた方や、基本チェックリストなどを受け、事業対象の認定を受けた方を対象としています。

民生委員長谷川様:中岡付近にはまだまだ何もサービスを使っていない高齢者が沢山います。また、独居だったりで閉じこもりになっている方もいるし、介護保険の情報もなければ、介護の認定を受ける事に抵抗のある方もたくさんいると思ひます。そのような方の中には、自分で歩いてスポーツクラブに行ってる方もいるが地域にこういった施設がある事が伝われば、人と会う機会にもなるし、歩いて散歩しながら来たり出来たらいいと思ひます。

議題 or 件名 令和元年度 第7回デイサービス未来中岡 運営推進会議			出席者承認
日時	R2年 1月 23日(木)	出席者名	下條成子様、小宅嘉有様
場所	デイサービス未来 中岡	及び	長谷川教夫様
時間	17:15 ~ 19:00	配布先	牛来照雄様、牛来紘子様
			陣野英之
配布先	配布； 表紙回覧；	添付書類	全 3 枚

DS陣野: 現在、施設面積により市への届け出上は、午前午後ともに18人定員となっているが、送迎車の乗車定員により13名までが現状の送迎の限界で、ご家族様送迎等でご協力頂き、一番多い日が金曜午前の15名となっている。しかし、個別訓練は一人につき、筋力をほぐすストレッチやマッサージ、筋力訓練やバランス・歩行訓練等を行うと施術時間に15分程度は必要となり、3時間5分の営業では施術時間や内容を確保するには12名が限界。その他各種運動プログラムも個別に運動量が異なり、物理療法等も人数を増やせば増やしただけ施術時間が短くなってしまい、効果に繋がらない。また、送迎についても30分程度で午前と午後の送迎の3~4名を迎えに行き、午前と午後の送迎の兼ね合いもあるのが現状。

民生委員長谷川様: 送迎は遠くまで行くの勿体ないし、時間の無駄になってしまうのではないかと。だったら、近所の方々にみんな歩いて集まって貰ってはダメなのか？

DS陣野: ご利用者の中には免許を返納して外出の足がなく、同居の家族も仕事をされていたりされ、自由に外出する機会が減っている方が多く、中には送迎時の車内の会話や車窓から見える景色の移り変わりから四季の変化を楽しまれたりされている方もいる。また、当施設を利用する為にご自宅を外出され徒歩で向かう際に、転倒や事故に合わせたりした場合の責任の所在が不透明になってしまう為、当施設をご利用する為に外出する事に関しては、ご利用者様の安全の為にもどんなに近くの方でも送迎の対応としている。

包括下條様: 人数が多くなってしまい、施術内容やサービスの内容が下がってしまう事を懸念されているのでは、一度ご利用者様にアンケート等を取って聞いてみてはどうか？その場合は、記述する部分を減らして、選択式にすれば皆さんも答えやすいのでは？

自治会長小宅様: 昨年の台風19号で、好間の方は酷い被害が出たが、こういった施設は、避難場所や避難の決まりは決まっているんですか？

DS陣野: 気象庁の定める避難本社幹部を含め準備警戒警報の3や4が発令となるに伴い、本社幹部にて連携を図り、営業の有無や避難等を検討して即座に対応する事にはなっています。同法人に金山の高台にショートステイがあるので、緊急時については避難場所に定めており、そこに避難した上で、各自の緊急連絡先に連絡を行い、送迎や迎え等を都度ご家族と連携を図る予定になっています。

自治会小宅様: 災害時等に、ここにどのような状態の方、どういった病気がかかりつけがどこで、どのように支援が必要な方がいるのかなどが分かれば、地域でも支援の仕方があるかと思う。また、今度の自治会で備蓄用品で、この前の台風みたいに冠水した場合に、車椅子だったり足の不自由な方の避難を想定してゴムボート等は購入して準備してみても良いかと思うが、他に何か必要だと思うものなどはないか？

DS陣野: 避難が必要な際には、各利用者様の生年月日や病歴、かかりつけ医、緊急連絡先等をまとめたものを準備しており、対応が出来るように準備はしています。また、今回の台風でも中岡や植田の各所で冠水していた場所が多数あったので、ゴムボートの備蓄は必要だと思うが、緊急時に手で膨らませては間に合わないので、コンプレッサーや、今回の台風でも避難された方の中には、避難所に行っても人が溢れては入れず、車で夜を過ごした方や毛布等の暖を取るものがなかった方のお話を聞いたりしたので、そういった備蓄があれば良いと思う。毛布等は備蓄するにも場所が必要だし、アルミの防寒・防風シートなどは場所も取らずにコスト的にも毛布より安く準備が可能ではないか？また災害時で考えると以外と使えるものがラップ。食器の変わりにして洗い物を減らしたり、包帯の変わりに巻いたりすることで、止血等にも使えたりもするので、そういったものを使った勉強会等も必要では？

牛来様、奥様: 今回も避難の場所が何処か開いていて何処にいけば良いか分からなかった。行っても入れずに車内で一晩過ごした高齢者もたくさんいた。もっと情報が分かりやすければ良い。

包括下條: どの地域が何処に避難しなくてはならないと決まっているわけではない。

自治会長小宅様: 今回も磐農は、当初避難所として開所する予定ではなかったが人が集まって来たから開けた。今後はそういった情報の提供や連携がもっと必よようになるし、重要になって来ると思う。